



TAC 地方上級・国家一般職 総合本科生

Y.K.さん(28 歳)

合格:徳島県大卒程度(学校事務)・国家一般職(行政四国)

内定:徳島県大卒程度(学校事務)

【TAC 徳島校の良かったところ】

1. 面接対策に強いところ。復元シートで過去に訊かれた質問を知ることができたので、対策が立てやすかった。
2. 担任講師の先生が経験に基づいて、一人一人に的確なアドバイスをしてくれるところ。
3. 本番のレベルに近い V 問題集と、Web フォローでも授業が可能なところ。

【TACを選んだ理由】

理数系が大の苦手で、数的処理が解けず、公務員試験をあきらめていた。

そんな私でも、絶対突破できる！と受講相談で言ってくれたことから、TAC を信じてみようと思った。

徳島校は面接対策が充実しているところに、魅力を感じた。

【これから受験される方へアドバイス】

短期集中で筆記対策される方は、最低 3 か月は時間を取るべきだと思います。

今回私が、2 か月で通過したのは、運が良かったことや前職で民法を勉強していたことが大きいと思います。

「あと 1 か月あったら・・・」と何回も思ったので、3 か月は必要だと思いました。

【学習期間や一日の学習時間と、筆記試験対策】

3 月まで働いており、4 月半ば～6 月半ばの、実質 2 か月の超短期集中だった。

私はとにかく理数系が全く解けないので、2 ヶ月はほぼ専門試験の勉強しかしなかった。

憲法、民法、行政法、政治学、行政学、社会政策、時事で満点が取れるように、一日10～12時間程度勉強した。

【TACでお勧めの勉強方法や教材、効果的な学習法】

[講義を視聴→V問を解く→再度V問を解く]を、憲法、民法、行政法、政治学、行政学の科目で実践した。時間が無かったので、社会政策と時事はV問だけ2回解いた。

政治学、社会政策、時事の暗記系科目は、暗記量が多いので、直前に再度詰め込んだ。TAC会員ページ(Webスクール)の「今月の時事」コーナーを読んでおくと、とても良いと思う(その中から、本番で何問か出たので)。

【面接・集団討論など二次・三次対策】

TACの模擬面接に参加し、練習をした。

徳島校面接復元シートを参考に、想定質問の回答を準備した。

自宅でも面接練習を行い、スマホで録画し、話し方や表情、回答内容をチェックした。

【受験動機】

結婚を機に前職を退職し、今後の仕事を考えた時に、将来的に育児と両立しやすく、安定して長く働くことができるのは公務員だと考えた。

【この合格体験記のタイトル】

粘り勝ち、短期集中

【今回の最終合格・内定の決め手】

粘り強く、最後まであきらめなかったこと。

筆記試験はとにかく時間が無かった上、計画通りに進まない日もあり、もうダメだ…と何度も思ったが「試験日まであと〇〇日あるから、最後までやる！」と粘ったことが良かったと思う。

【最後に一言】

徳島県の大卒程度学校事務は、一次試験から最終(三次)面接までの期間が他の試験区分よりも長く、精神的にきつい時もありましたが、最後まで折れずに頑張った良かったです。

もっと早く、TAC徳島校に出会っていればよかったのに…と思いました。

今までありがとうございました。